

― 種目の魅力はどんなところにありますか。

菊池：スプリント能力とハードリング能力の両方が必要であり、陸上競技の中でトップクラスに番狂わせが起きやすいことと、ハイスピードで障害物を越える爽快感、派手さが魅力

― チーム代表としての心持は(限られた人しか出ることのできない日本インカレの選手として出場される心情などをお聞かせください)

菊池：日本インカレの場に立つことが出来ているのはこれまで協力してくれた周りのおかげであり、この恩は日本インカレで活躍するまでしか返せないと思うので、少しでも上のステージ、少しでもいい結果を報告出来るように頑張ります。

― 一緒に戦ってきたチーム芸芸大学陸上部のいい所はどんなところだと考えますか。

菊池：教員養成大学のため、一人ひとりの視野が広く、また学生主体で運営しているため色々な視点で考えることが出来る。

― 110に来るまでに(又は標準を切るまでに)強化して練習してきたことや日本インカレで見ている110とはありますか。

菊池：一番強化したのはインターバル間のスプリントとハードリングの際の重心の引き上げ 見て欲しいのは中盤以降どれだけ耐えて逃げ切るかが注目ポイント

― 日本インカレでの目標や意気込みを教えてください

菊池：タイムは14'11〜14'0台、順位的な方は準決勝で戦うこと

― 琳太郎さんは、ずっと陸上をやっているのですか？

菊池：小学校から陸上はやっている。一応小学3年から3年間野球もやってたよ